

科目名称：	社会福祉概論Ⅱ	
担当者名：	荻原 園子	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	講義	2
授業の目的・テーマ		
現代社会において社会福祉の必要性がどのように説明されてきたのかについて、社会福祉にかかわる原理や理論の解説を通して全般的な基礎知識の体系的学修と社会福祉の基礎的概念について多角的に講義します。		
授業の達成目標・到達目標		
①社会福祉の政策・制度・方法に関わる基本的視点を説明することができる。②社会福祉の諸理論についてその背景とともに理解することができる。③21世紀における新たな政策展開を理解することができる。以上を通して社会福祉の基礎的概念の修得と自らの対象認識及び援助観を含んだ社会福祉観を涵養し、現在の社会福祉の必要性を説明することができる。		

留学生別科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神「遊学の精神の涵養」と設立の理念「金城から地球を歩こう」を基に、基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	
DP(2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、それぞれの専門分野において貢献できる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様な社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	○
DP(4)	学生一人ひとりが、様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力が身についている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP(1)					0
全学DP(2)					0
全学DP(3)	70	15		15	100
全学DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 福祉政策の構成要素として論点と役割について講義します。また授業計画の説明、授業成果カードおよび成績評価について説明します。	事前に教科書「福祉政策の理念・主体・手法」(p180-202)を一読してください。事後に社会福祉にかかわる鍵概念についてまとめてください。	60分
第2回 社会福祉の原理①として社会福祉の倫理と論理について講義します。	事前に教科書「福祉と福祉政策」(p32-53)を一読してください。事後に社会福祉の固有性についてまとめてください。	60分
第3回 社会福祉の原理②として社会福祉と愛他理念がどのように関連しているかについて講義します。	事前に人が人を助ける理由は何かについて考えてきてください。事後に配布資料を一読し、宗教と福祉が理念的かつ実践的に関連する理由をまとめてください。	60分
第4回 社会福祉の原理③として福祉の思想と哲学について講義します。	事前に教科書「福祉の思想と哲学」(p56-76)を一読してください。事後に配布資料を確認し糸賀一雄の福祉思想を図示して説明してください。	90分
第5回 社会福祉の原理④として社会福祉の対象者理解と対象認識の相違について講義します。	事前に教科書「視点と枠組み」(p2-10)を一読してください。事後に社会福祉の対象とは何か、その理由を含めてまとめてください。	60分
第6回 社会福祉の諸理論①として戦前の社会政策の立場から捉えた社会事業・社会福祉の必要性を講義します。	事前に政策論では社会福祉をどのように捉えているかについて考えておいてください。事後に配布資料を一読し、戦前の社会政策と社会事業の関連性をまとめてください。	60分
第7回 社会福祉の諸理論②として戦前の制度論の立場から捉えた社会事業・社会福祉の必要性を講義します。	事前に戦後の社会福祉制度論の枠組みや対象を復習しておいてください。事後に配布資料を一読し、戦前の法制度から捉えた社会事業の必要性についてまとめてみてください。	60分
第8回 社会福祉の諸理論③として戦前の技術論から捉えた社会事業・社会福祉の必要性について講義します。	事前に現在のソーシャルワークについて復習しておいてください。事後に配布資料を一読し、戦前の技術論・方法論の必要性をまとめてみてください。	60分
第9回 社会福祉の諸理論④として戦後の政策論の立場から捉えた社会事業・社会福祉の必要性について講義します。	事前にこれまでに学習した戦後社会と社会福祉の展開を復習してください。事後に配布資料を一読し、戦後の政策論の特徴についてまとめてみてください。	60分
第10回 社会福祉の諸理論⑤として戦後の技術論の立場から捉えた社会事業・社会福祉の必要性について講義します。	事前にこれまでに学習した戦後の社会福祉の方法・技術について復習してください。事後に配布資料を一読し、戦後の技術・方法論についてまとめてみてください。	60分
第11回 社会福祉の諸理論⑥として中間理論の立場から捉えた社会福祉の必要性を講義します。	事前に戦後の政策論と技術論を復習しておいてください。事後に配布資料を一読し、政策論と技術論の折衷として創出された理論をまとめてください。	60分
第12回 社会福祉の諸理論⑦として運動論の立場から捉えた社会福祉の必要性を講義します。	事前に運動論とはどのようなものか想像し考えてみてください。事後に配布資料を一読し、運動論の立場からの社会福祉の必要性とその論拠をまとめてください。	60分
第13回 社会福祉の諸理論⑧として経営論の立場から捉えた社会福祉の必要性を講義します。	事前に教科書「福祉政策における必要と資源」(p158-178)を一読してください。事後に配布資料にもとづき三浦文夫の福祉経営論・ニーズ論についてまとめてください。	90分
第14回 社会福祉の諸理論⑨として新たな理論展開の動向について講義します。	事前に教科書「福祉政策の課題と展望」(p342-359)を一読してください。事後に福祉政策と福祉実践のかかえる課題についてまとめてください。	90分
第15回 社会福祉の諸理論⑩として21世紀の福祉政策の方向性について講義します。	事前に教科書「視点と枠組み」(p2-10)を再読してください。事後に全15回の学んできたことを確認してください。	60分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。  
また、事前事後学修としては、社会福祉概論Ⅰおよびソーシャルワーク論Ⅰで学んだ内容をしっかりと復習しておくこと。社会福祉の必要性や専門性について興味や関心をもって受講すること。

#### 成績評価の方法・基準

定期試験は、70%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。  
小テスト(授業成果カード)、授業への積極的関与、試験の結果等を総合的に評価します。  
小テスト(授業成果カード)15%、授業への積極的関与15%

#### 課題に対するフィードバック

小テスト(授業成果カード)は次回の授業の開始時に補足説明および解説します。

#### 教科書・参考書

教科書：教科書：社会福祉士養成講座編集委員会『現代社会と福祉 第4版』中央法規 2014年  
教科書：ミネルヴァ書房編集部『社会福祉小六法2019』ミネルヴァ書房 2019年